

教育目標「キラリ、桃里に輝く上保原っ子」

平成25年3月1日

桃 里

伊達市立上保原小学校長 亀岡和美

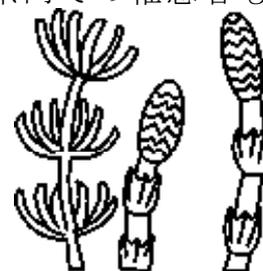
児童数 1年36名 2年34名 3年41名 4年32名 5年54名 6年49名 計246名



～ 修了・卒業まであと〇〇日 ～

ようやく春めいた日差しが感じられるようになりました。インフルエンザも終息し欠席者0の日が多くなっています。県内での罹患者も減少しているようですね。しかし、気を弛めず、手洗い・うがいなどの指導を行っているところです。

平成24年度最後の月、3月に入りました。小学校卒業証書授与式(3月23日)まであともう少しです。児童にとって、その日が輝かしい日で迎えられるよう指導・支援をしていきたいと思っています。



～ 携帯電話の普及に伴って ～

伊達警察署管内には、小・中・高の学校と連携した学校警察連絡協議会があります。学期毎に定例会があり、様々な事案に関して情報提供をいただいたり研修を深めたりしています。

第3学期定例会が、先日行われました。その会議の中で下記の点が話題提供されました。

- 1 少年非行として「万引き」が多いこと
お菓子等が多く、検挙・補導されても罪悪感がないことが多いとのことです。
- 2 ネット犯罪が増えていること
- 3 携帯電話を持っている児童・生徒が増えていること
特に、女子に増えている。中学生の27%が自分専用の携帯電話を持っている。そのうち女子が60%を占めています。
- 4 携帯電話のフィルタリング利用が徹底されていないこと
携帯電話を持っている生徒のうち、40%はフィルタリング(有害サイトアクセス制限サービス)を利用していないという結果でした。また、携帯電話の使用に伴っておきる様々なトラブルについて「知らない」または「知っているが実際にトラブル得にに遭ったことがない」と答えています。

まずは、携帯電話やパソコンは子どもに持たせていたとしても「親が買い与えた」「使用料も親が払っている」ことを教えなければならないと思います。ですから、使い方についても親との約束が発生します。買ってもらったものだから、使いたいように使っていていいというものではありません。

「万が一の時に持っている」と安心「子どもがほしいとねだる」「〇〇さんも持っている」「持っていないのは私だけ」「仲間はずれになると困る」・・・様々な理由があり購入する場合があります。IT機器は日進月歩の発達をしています。購入は中高生になってからというケースが多いとは思いますが、小学生のうちから、携帯電話、パソコン等の使用方法等について話し合っておく必要があることを学習してきました。

～ 学校評価を踏まえて ～

アンケートの結果を踏まえ、職員全員でその内容を協議しました。多くの課題や要望等ありましたが、一つ一つクリアしていくために、来年度の上保原小学校の目標や計画等について話し合いを重ねてきました。

すぐに解決できない課題もあります。しかし、多くの意見をいただきながらよりよい教育を目指しこれからも課題解決に向かって頑張りたいと思います。

学校評価の結果についてはP T A総会の際にも結果を配付し、説明もしたいと考えています。これからもご忌憚のないご意見をいただきたく思います。ありがとうございました。

～ 学校保健委員会から ～

2月7日(木)に第3回学校保健委員会を実施しました。これは、「児童及び教職員の健康生活、健康状態などにかかる問題について協議し、問題解決の方策を見出すなどして健康の保持増進を図る」「学校保健について、校内の体制整備するとともに、家庭や地域社会及び専門機関などの連携を密にし、ヘルスプロモーションの理念に基づく健康づくりを協働で推進する」ことをねらいとしています。

今回は、学校薬剤師、P T A会長、P T A厚生委員長の3名の外部委員の方にも出席いただき有意義な会を進めることができました。

1年間の計画・実践についての反省を行い来年度への改善方法について協議しました。今後も改善を加えながら、継続して指導していきたいと思ひます。

1 う歯予防指導

1, 5年は6月のむし歯予防デーに合わせ、学校歯科医の先生に指導を受けた。1年は「歯磨きによる磨き残しの染め出し」を、5年生は「歯肉炎になる仕組みの学習」を行った。他学年も計画に沿って学級毎に指導した。来年度は、全校同時期に染め出し液を使って実際に自分の歯磨きの仕方について振り返る機会をもつようにしたい。

フッ化物洗口は毎週水曜日に実施。2月末現在、う歯治療率39.5%。再度治療勧告を行う予定。特に、6年生は永久歯がむし歯であることが多い。中学生になると、部活動等で受診の時間が制限されるので、小学生のうちに治療を終えるように治療を勧めたい。

2 食に関する指導

保原給食センター栄養士、伊達給食センター栄養教諭の方に来校いただき1～4年生まで「すききらいしないでたべよう」「たべもののたび「上手なおやつとり方」「食生活のリズム」について学習した。

3 立腰指導・・・腰骨を立ててよい姿勢をすること

授業の始めと終わりや食事の挨拶、集会時等に「立腰」を意識させてきた。椅子に座ったときに床に両足をきちんと付けさせるようにしてきた。「立腰」のポスターも作成し掲示した。少しずつ意識できるようになってきている。

4 欠席状況

今年度はインフルエンザ、感染性胃腸炎等の流行はなく落ち着いている。手洗い、うがい、消毒等を今後も継続指導する。薬剤師の先生からは、ノロウイルスの消毒について指導をいただく。

5 保健室来室状況

外でのけがが多かった。外での活動制限がなくなったためか、擦り傷等が増えた。危険予測できるように指導したい。

6 放射線対策

今後も状況に応じた配慮・指導を行っていく。(日常指導、学活、総合等)

7 生活習慣改善

朝食摂取率が向上したが、食事内容はまだ課題が見られる。健康に過ごすため、家庭での生活時間や食事内容等呼びかけていく必要がある。